北陸の旅

兼六園・芦原温泉・東尋坊・永平寺





2023.04.18 (火) ~20 (木)



じじばば 旅行

 $2023.04.18 \sim 20$











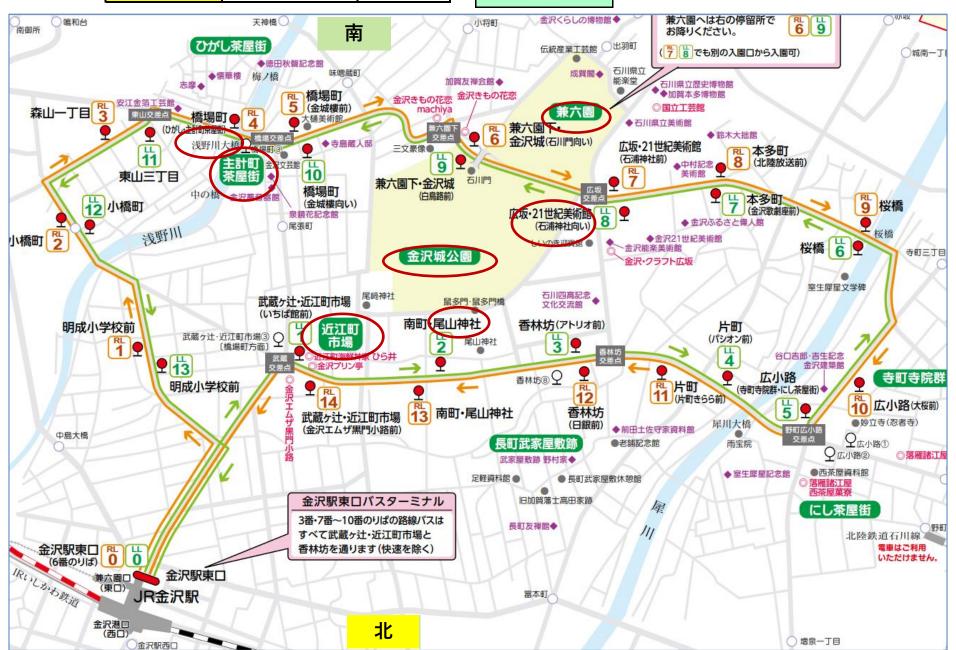




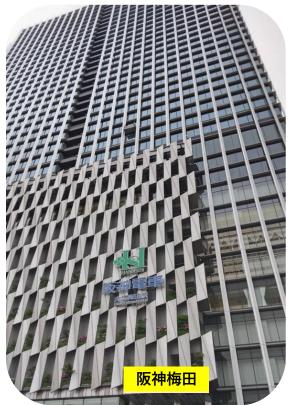


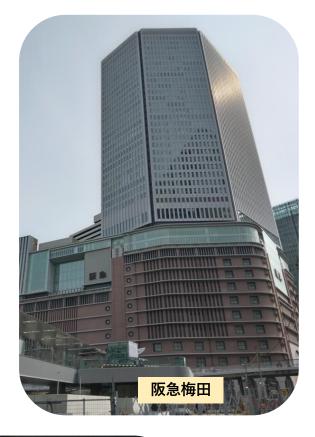
1日目 2023.04.18 金沢

近江町市場 21世紀美術館









行き

2023.04.18

大阪 9:42

サンダーバード 3 2号

金沢 12:20

2023.04.20

大阪18:09



福井 16:08

1日目

2023.04.18

金沢

近江町市場 21世紀美術館





























2日目

2023.04.19

金沢

福井

尾山神社



金沢城公園



玉泉院丸庭園



兼六園



JR芦原温泉



あわら湯の町





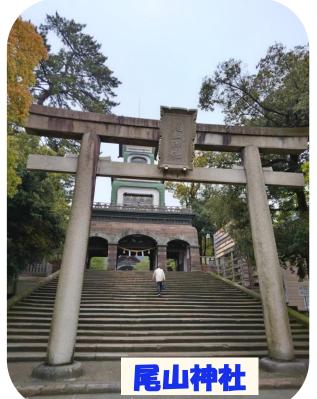
尾山神社



















金沢城公園 & 玉泉院丸庭園

















金沢城公園













































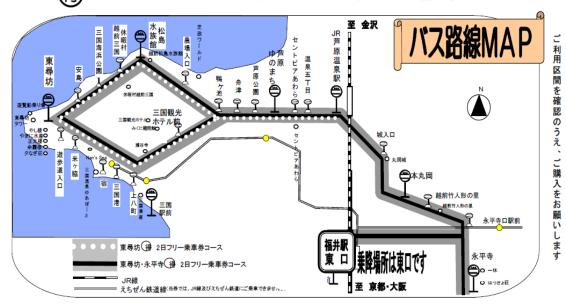






あわら湯の町~東尋坊~芦原温泉~永平寺~福井駅東 表 肼 あわら湯の町 7:56 東尋坊 8:20 東尋坊・丸岡城・ 9:54 永平寺 芦原温泉 10:37 2 日フリーキップ 10:40 永平寺 永平寺 14:30 ライナー 福井駅東 14:59

(得)2日フリー乗車券をご利用のお客様へ ^{〒成23年6月1日 改定}



JR芦原温泉 の京福バス営業所で購入のこと

永平寺・東尋坊二日フリーきっぷ

おとな **2,300**円 こども **1,150**円

東尋坊エリアと永平寺エリア 両方回るならこれ 1 枚で OK! 指定区間で 二日間乗り降り自由のフリーきっぷです。

払い戻し

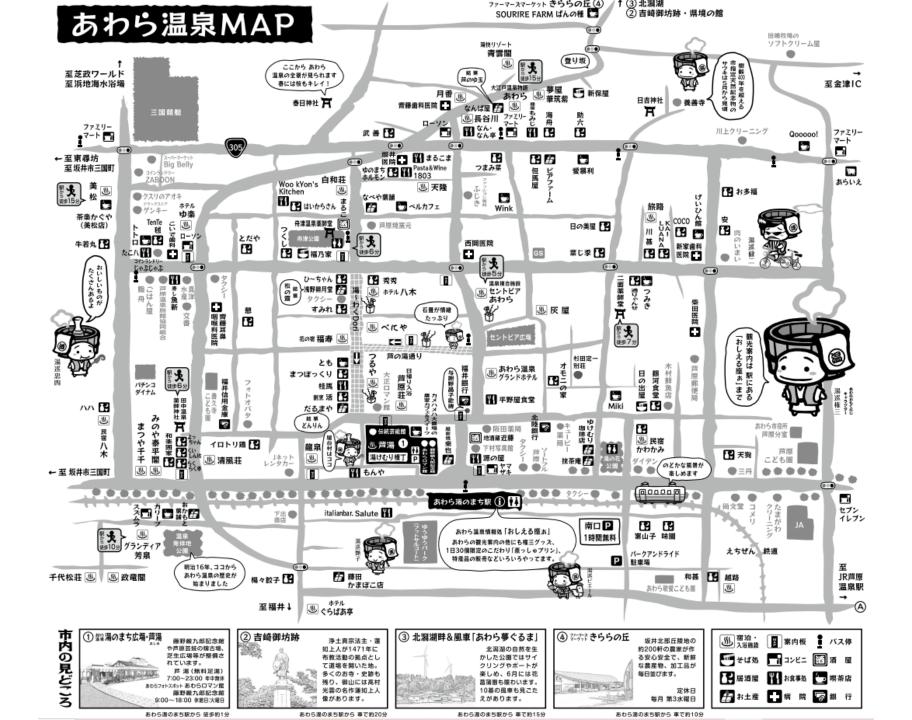
○本商品は払い戻しできません。

発売箇所

○福井駅東ロバスチケットセンター芦原温泉駅案内所、坂井営業所、えちぜん鉄道あわら湯のまち駅



お問い合わせ 運行管理部(0776)57-7700 または 坂井営業所(0776)77-2046



芦原温泉

2023.04.19

あわら湯の町



















あわら温泉 グランドホテル







あわら温泉 グランドホテル







2023.04.19









当日の運航状況は「東尋坊遊覧船 Twitter」でお知らせ!

| 運航案内 | | | | | |
|--------|------------------|--------|------------|--|--|
| 所要時間 | 一周約30分 | | | | |
| 運航時間 | 随時運航 | | | | |
| 営業時間 - | 通常営業 | 4月~10月 | 9:00~16:00 | | |
| | 冬期営業 | 11月~3月 | 9:00~15:30 | | |
| 運休期間 | 12/29~1/31(全便運休) | | | | |
| 定員 | 80名×2隻・69名×2隻 | | | | |

●当日連航状況確認のお電話をお願いします。●上記室業時間外の時は、事前にお知らせ下さい。

| 一般旅客運賃 | | | | | |
|------------|------------------|-------------------|--------|--|--|
| 大 人(中学生以上) | 1,400ฅ | | | | |
| 小 人(小学生) | 700 _P | | | | |
| 団体割引運賃 | 80 | | | | |
| 一般団体 | | 1~14名 | 15名以上 | | |
| | 大人 | 1,400g | 1,260⊞ | | |
| | 小人 | 700⊓ | 630ฅ | | |
| 学生団体 | 中·高·大学生 | 980 _円 | | | |
| | 小学生 | 630 _{Pl} | | | |

中学生以上は大人通濟。小学生は小人連携。
→大人に同伴されて乗船する「歳以上で小学校に就学していない小児の連済は、大人1名につき1人がは前ささず。但し、大人1名につき1名を超えるものは、小人連貫を請用。











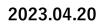














































2023.04.20













比叡山を下り、京都を彷徨い

鎌倉時代、禅は権力に寄り添いながら隆盛していた。その権力にも名声にも背を向けた禅僧が、道元である

。中国にも渡り、そして行き着いたのは越前の志比谷

道元の教えが厳格なまでに息づく伽藍には、今日も凛とした空気が流れている。 ここでは坐禅はもちろんのこと、掃除も食事も睡眠も、すべてが修行である。

その地に、彼は修行のための道場を建てた。今も雲水たちが修行に明け暮れる永平寺だ

雲水と呼ばれる修行僧のことを

は絶えず緊張感がみなぎっている。 と説いた。その教えを今も忠実に守っているのだ。 そうした修行僧の姿を見ていると、 は生活そのものが修行である

は京都で建仁寺を興し、道元も一時はここに身を寄 新しい風を吹き込んでいた。禅の先駆者である栄西 独立独歩の道を選ぶ。 坐禅こそ仏教における最上の教えと考 有力宗派や権力者と結びついた

衆であった波多野義重の勧めにより、 二四三)年、鎌倉幕府の六波羅評 道元は越前

永平寺年表

(寛元二)

(寛元四)

後円融天皇から「日本曹洞第一道場」の勅

応仁の乱の兵火により全境

八七二年 (現在の福井県上志比村) (明治五) 總持寺とともに曹洞宗大本山となる。

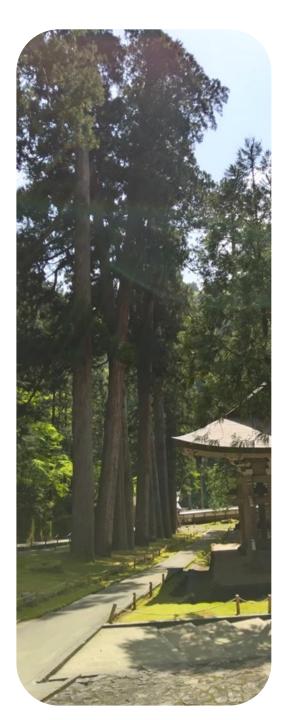
寺に改めた。「永平

とは後漢の永平年間(五八~七五年)に仏教が中国 に伝来したとされることに由来するという。

理想の道場を実現した道元は、 人でも真の修行者を育てようという

寺は日本における禅の中心とし

明治維新のときには仏教を取り巻く環



永平寺門前 ガイドマップ

Eiheiji Monzen Guide Map 永平寺门前指南地图 에이 헤이지 문전 가이드 맵































































福井城下

福井城下は、越前松平家、福井藩68万石の城下町として、江戸時代 初頭に整備されました。その頃、町の名は北庄と呼ばれており、福井藩相 総城秀康は、柴田勝家によって築かれた城下を改修・整備し、慶長11 (1606) 年にはほぼ完成したといわれています。

城下の中心・本丸には四重五階の天守および三隅には槽が築かれ、 本丸御殿(滑庁)や御座所(滑主の住居)が設けられました。これを取り 巻く形でニノ丸、三ノ丸と同心円状に堀がめぐらされ、人工的に推削 された北側と西側の堀の内に侍屋敷の大半が置かれています。一方、 町人の屋敷は西側の堀の外(現在の通称・片町や呉殿町など)に集中 させられました。

三代藩主和平忠昌は、町の名を北市から福居在と改め、18世紀初頭には 現在の福井に定まりました。この間、城下は二度の大火に見舞われましたが、特に寛文9 (1669) 年の大火は、城下の足羽川北側の大半を焼く もので、本丸の天守も全焼してしまいました。

| 万歩計 | 1日目 | 2日目 | 3日目 | 計 | 777.16m | は行 |
|-----|--------|--------|--------|--------|---------|------|
| K | 13,520 | 16,039 | 14,467 | 44,026 | 14,675 | ど全の姿 |
| Т | 15,354 | 18,354 | 17,306 | 51,014 | 17,005 | |